



5月27日から6月7日までの12日間で～成長の違いを明確に～

5年「植物の発芽と成長」がついに完結しました。植物の成長を気長に待たなければならないこの実験は、2週間以上かかります。肥料を与えたインゲンマメと水だけで育てたインゲンマメの大きな差を一目でわかるように栽培しなければなりません。今回は、肥料の液肥の薄め方が少し濃くしてしまい、肥料枯れが起きてしまい、肥料を与えた方が萎びてしまうというハプニングがありました。なんとか一本だけは、すくすくと大きく育っていました。



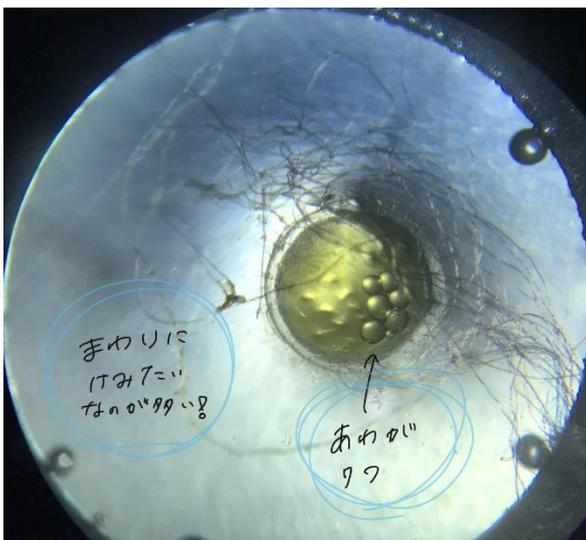
イ 日光を当てない ア 日光を当てる



ウ 肥料を与える エ 肥料を与えない

このように、日光を当てずに肥料と水だけで栽培すると、葉も黄色くなり、萎びてしまっていました。(肥料負けの影響もあり極端に違ってしまいましたが。) また、肥料を与えた方は、与えていない方よりも、草丈が高く、つるが黒いマットを超えています。また、葉の色も濃く見えます。この実験も、当たり前のことですが、本当にそうなるんだという確信が理解を深めることになるとおもっています。

メダカの卵の変化で、卵の中の成長過程を追う～産卵初日の卵～



児童の顕微鏡観察を撮影したメモ



24秒付近で卵が動きふくらんでいく!? 何だこれ!? 児童撮影記録より大発見。私自身も初めての体験でした!



双眼実体顕微鏡のライトの種類によっては、メダカの卵が神秘的に見えます。まるで太陽みたいです。

この泡のようなもの。卵によって数が違ってきますね。実は、これ、日が経つにつれて少なくなっていく。このことに気づかせながら、

スゴイ!

動画視聴



孵化するまでの卵内の成長を探っていきたいと思います。